

6 - 8 中部・北陸地方の地殻変動

Crustal Movements in the Chubu and Hokuriku Regions

国土地理院

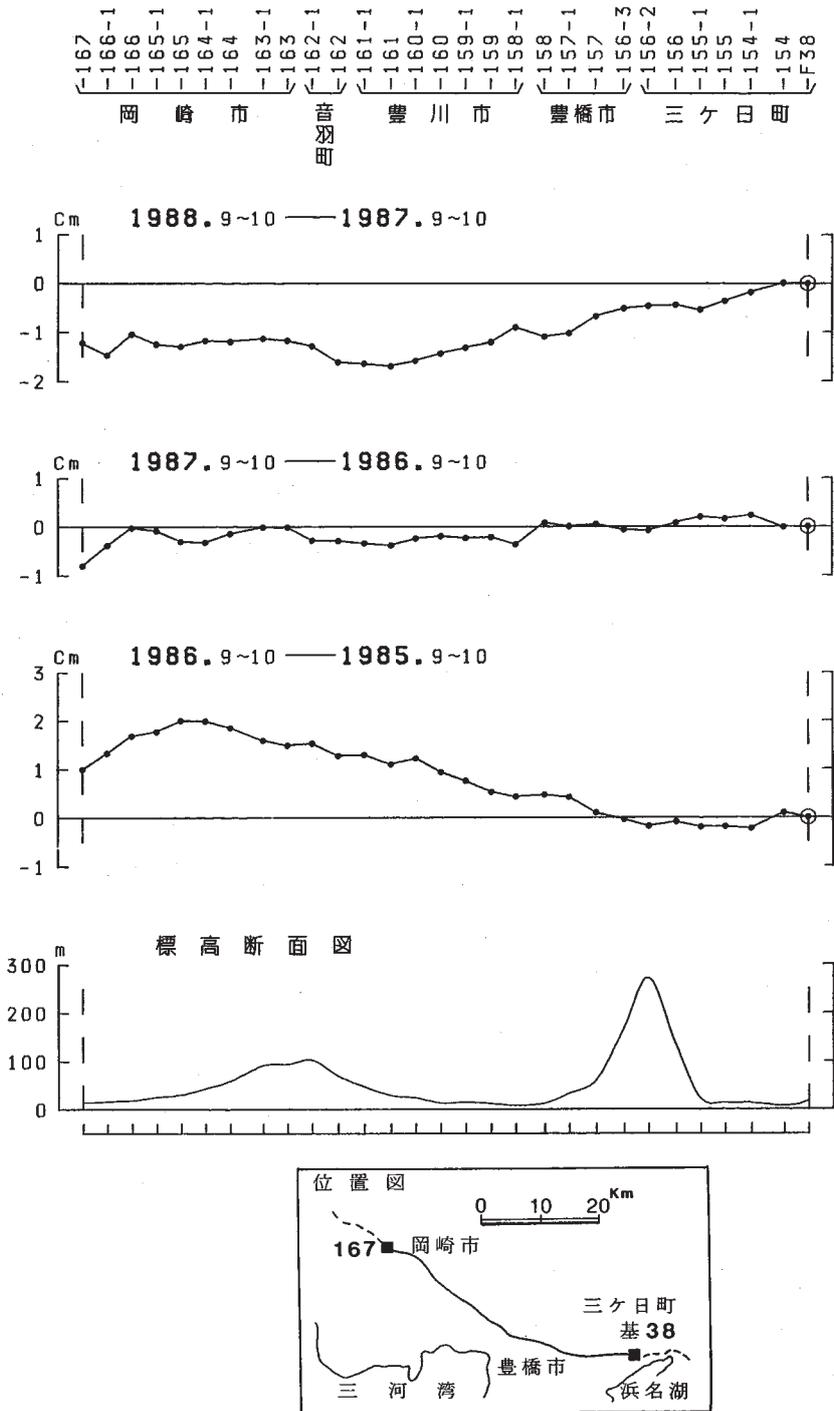
Geographical Survey Institute

第1図は、岡崎～三ヶ日間の上下変動である。今回は、岡崎付近が隆起の傾向から最近沈降の傾向を示す結果となっている。

第2～4図は、岐阜、養老及び能登精密変歪測量結果である。岐阜では、北西－南東の縮みが卓越している。養老放射基線は、数辺が観測不能となり2辺しかデータはないが、大きな変化はみられない。能登放射基線は、本年度新設されたばかりなので、一次網の結果との比較である。大きな変動はない。

参 考 文 献

- 1) 国土地理院地殻調査部：岐阜放射基線測量結果，連絡会報，**26** (1981)，254.
- 2) 国土地理院：中部地方の地殻変動，連絡会報，**31** (1984)，420 - 423.
- 3) 国土地理院：中部・北陸地方の地殻変動，連絡会報，**33** (1985)，400 - 414.
- 4) 国土地理院：中部地方の地殻変動，連絡会報，**34** (1985)，170 - 178.
- 5) 国土地理院：中部地方の水準測量及び精密変歪測量結果，連絡会報，**35** (1986)，163 - 167.
- 6) 国土地理院：北陸地方の水平歪，連絡会報，**36** (1986)，327 - 332.
- 7) 国土地理院：中部地方の地殻変動，連絡会報，**37** (1987)，341 - 344.
- 8) 国土地理院：中部・北陸地方の地殻変動，連絡会報，**39** (1988)，354 - 358.



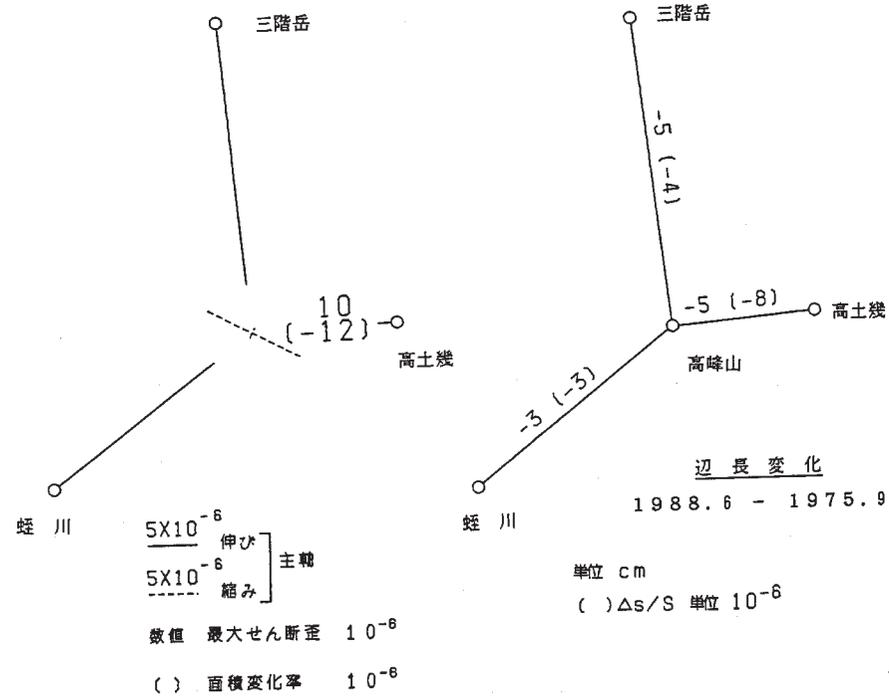
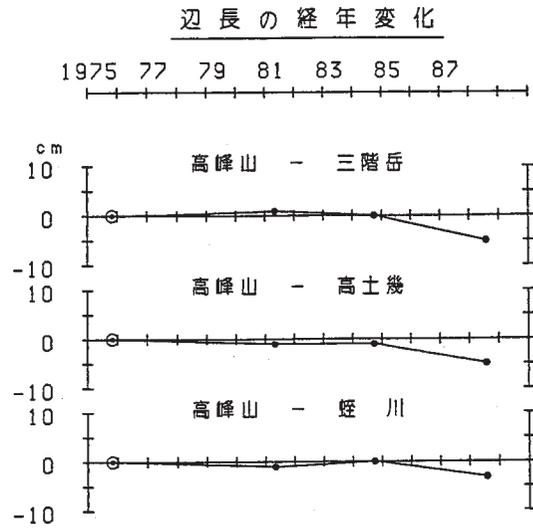
第1図 岡崎～三ヶ日間の上下変動
 Fig. 1 Level changes along the route from Okazaki to Mikkabi.

測定年 区 間	一次網			
	1975.09	81.03	84.08	88.06
高峰山 — 三階岳	12693.90 ^m	.91 ^m	.90 ^m	.85 ^m *
高峰山 — 高土幾	5955.40	.39	.39	.35
高峰山 — 蛭川	10347.16	.15	.16	.13

※ 4セットの観測値
* 6セットの観測値



水平歪
1988.6 - 1975.9



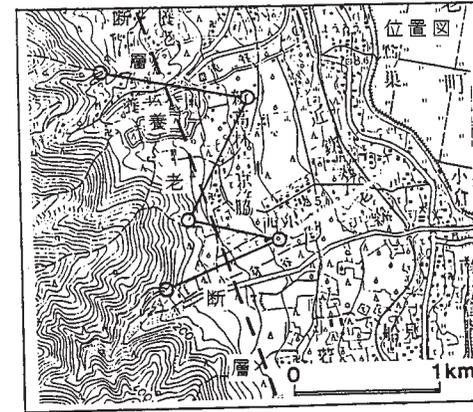
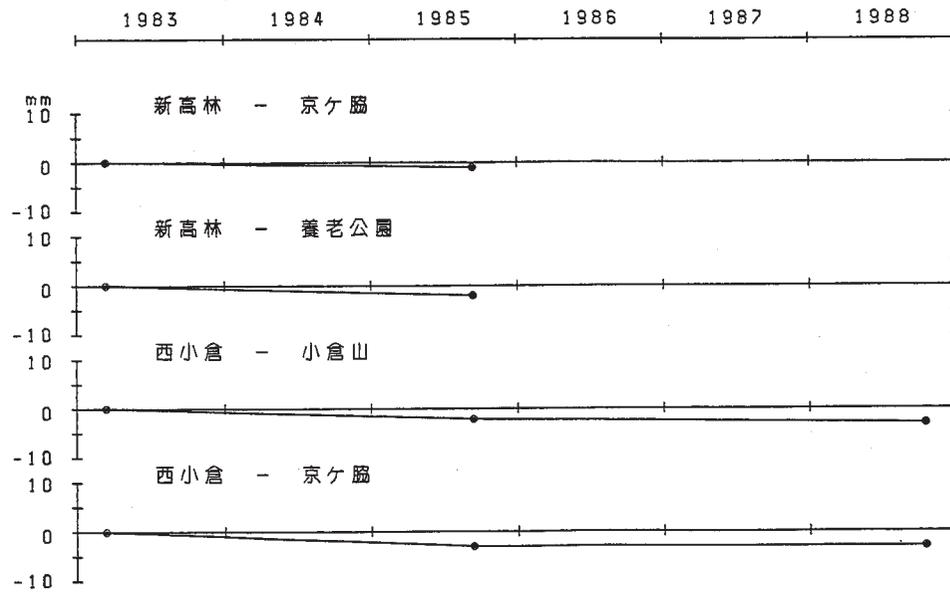
第2図 岐阜精密変歪測量結果

Fig. 2 Results of precise distance measurements in the Gifu radial baselines.

測定年 区間	1983.3	85.9	88.10
	新高林 - 京ヶ脇	969.901 ^m	.900 ^m
新高林 - 養老公園	1060.459	.457	---
西小倉 - 小倉山	879.175	.173	.172
西小倉 - 京ヶ脇	626.576	.573	.573

測器：メコメーター ME3000

辺長の経年変化

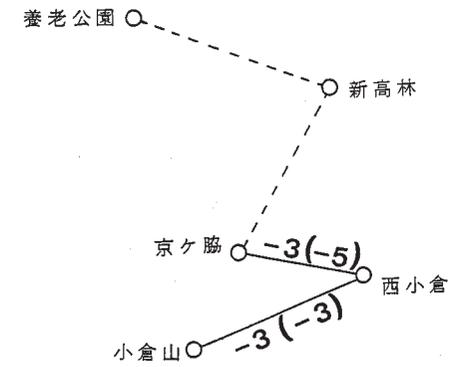


辺長変化

1988.10—1983.3

単位 mm

() Δs/S 単位 10⁻⁶

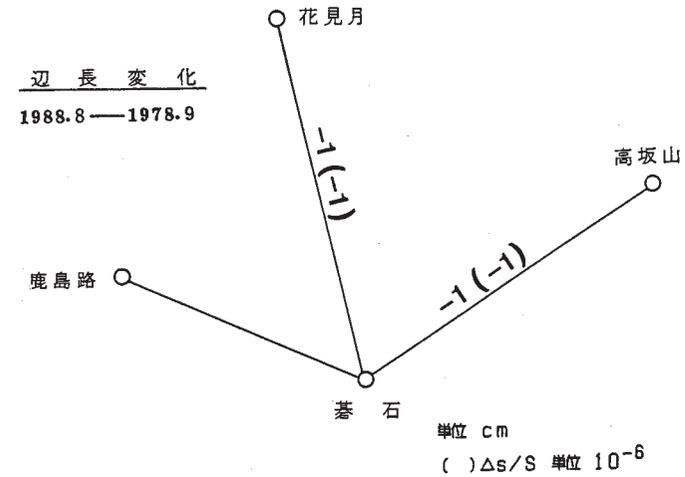
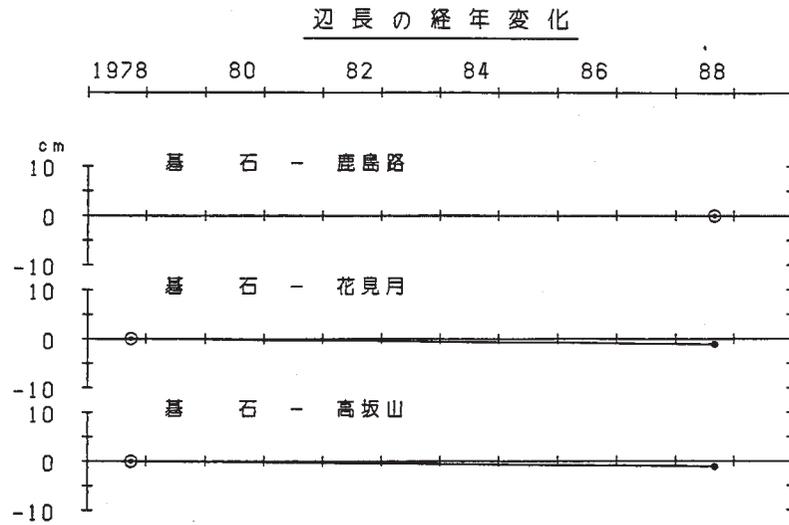
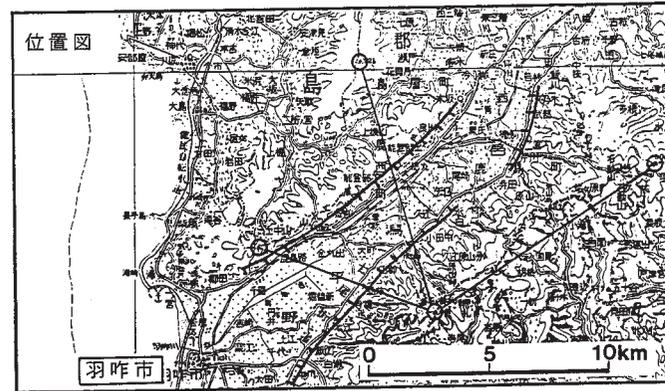


第3図 養老精密変歪測量結果

Fig. 3 Results of precise distance measurements in the Yoro radial baselines.

測定年 区 間	1978. 9	88. 8
基 石 — 鹿島路	7543. ^m	^m .31
基 石 — 花見月	10672.57	.56
基 石 — 高坂山	10914.61	.60

※ 1978.9 観測値は、一次網による。
鹿島路は新設点。



第4図 能登精密変歪測量結果

Fig. 4 Results of precise distance measurements in the Noto radial baselines.